

《 費用対効果分析説明資料 》

事業名	水産流通基盤整備事業	地区名等	八戸
-----	------------	------	----

【費用対効果の算定内容】

1. 費用対効果の算定根拠

費用対効果分析については、『水産基盤整備事業費用対効果分析のガイドライン』(平成28年4月改訂 水産庁漁港漁場整備部)に基づき行った。

2. 事業全体の投資効率性

(1) 統一的な事項

①費用及び便益の現在価値化

投資額、耐用年数期間に発生する年間便益を、現在価値化して用いる。
なお、現在価値化の基準年は、平成27年とし、社会的割引率は4%とする。

$$\text{費用便益費率} = \frac{\text{総便益}}{\text{総費用}} \quad \text{総便益} = \sum \frac{B_t}{(1+\text{割引率})^t} \quad \text{総費用} = \sum \frac{C_t}{(1+\text{割引率})^t}$$

※Bt:年度別効果額 Ct:年度別事業費 t:基準年を0とした経過年数

②便益の計測方法

費用便益積上法(漁業者や地域住民等が漁港施設等を利用したときの直接の利用便益を測定)により算出する。

③施設の耐用年数

原則として、漁港施設は50年とする。

(2) 総費用(C)の算定

主な項目	費用 (百万円)	総費用 (百万円)	主な内容
漁港施設	25,244	25,742	○施設整備に要する費用 計 17,304
			①県事業分(外郭・水域・係留・輸送・用地) 9,826
			②八戸市事業分(荷捌所・清浄海水取水・漁港浄化) 7,478
			○維持管理に要する費用 ※供用開始から50年間 計 7,940
			①については、累積事業費の0.8% 4,199
②については10年毎に事業費の10% 3,741			
合計	25,244	25,742	

(3) 総便益(B)の算定

主な項目	年間便益 (千円)	総便益 (百万円)	主な内容
水産物生産コストの削減効果	589,579	11,178	出漁準備作業時間の削減、漁船の耐用年数の延長 等
漁獲機会の増大効果	92,283	1,648	耐震化岸壁整備による漁業所得の維持
漁獲物付加価値化の効果	1,046,295	19,360	衛生管理環境の向上による魚価安定化効果
漁業就業者の労働環境改善効果	953	23	漁業就業者の労働環境改善
漁業外産業への効果	77,848	1,895	道路補修による車両通過時間の短縮
生命・財産保全・防御効果	97,464	1,740	耐震強化岸壁整備による災害復旧費の回避
合計	1,904,422	35,844	

【費用対効果分析の結果】

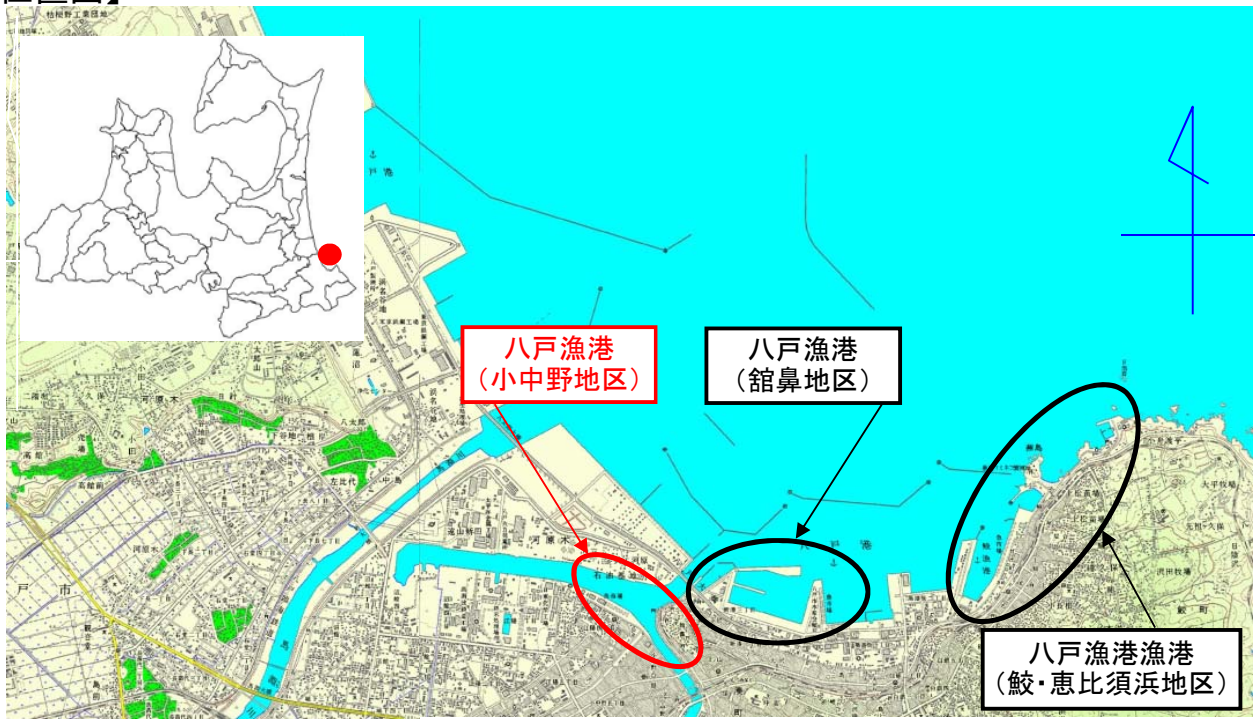
《再々評価時》 $B/C = 35,844 \text{ 百万円} / 25,742 \text{ 百万円} = 1.39$

第五次青森県環境計画
 開発事業等における環境配慮指針チェック表
 (土地の改変などの敷地整備や建築・建設段階)

事業名 チェック欄	八戸地区水産流通基盤整備事業 環境配慮指針	具体的な内容
1	1 土地・植生の改変(造成、敷地整備)段階での環境配慮	
□	(1)農林地等の緑地や植生の改変に係る環境配慮	
□	(2)地形や地盤の改変に係る環境配慮 ・ 盛土や土砂の埋立てを行う場合には、搬入する土砂の性状などに十分配慮し、有害物質などが含まれる土砂等の使用を避けるとともに、周辺土壌や地下水の汚染防止に努める。	海中床掘土砂を盛土材へ利用する際は、溶出試験を実施し有害物質の有無を把握する等、土砂の性状を十分に配慮する。
□	(3)水系や水辺の改変に係る環境配慮 ・ 大規模施設などの建築に当たっては、水辺からの景観に十分配慮した建築物の配置やデザインなどの工夫に努める。	八戸市が事業主体である荷捌所等の整備について、八戸市景観計画にもとづき周辺に景観に配慮する。
□	(4)海域の改変に係る環境配慮 ・ 埋立てや干拓、堤防の設置やしゅんせつなどによる土砂や底質の自然環境へ流出、潮流の変化による沿岸の侵食や堆積作用の変化など、海象条件の変化による海域生態系や水質への影響の防止に努める。	海上工事を実施するにあたり、施工環境監理者を配置することを義務づけており、周辺海域の自然環境や水生生物の生育環境に配慮した施工を行っている。
□	(5)建設機械の稼働に係る環境配慮 ・ 重機の使用に伴う非ガスや騒音・振動による周辺的生活環境や野生動物の生息環境に及ぼす影響を防止するよう努める。	使用する機器は、基本的に非ガス対策型及び低騒音型、低振動型を使用することとされている。
□	(6)土砂等の搬出・搬入に係る環境配慮 ・ 重機による地形改変に当たっては、適切な散水などにより土ぼこりの発生防止に努める。	使用する機器は、基本的に非ガス対策型及び低騒音型、低振動型を使用することとされており、さらに施工計画により希少生物等の繁殖時期を避けるよう工程を調整する。
□	(7)廃棄物処理等への配慮 ・ 建築物等の解体に伴う建設廃材などはできるだけリサイクルに努め、リサイクルできない廃棄物は適正に処理する。	土砂運搬車両については、速度に十分配慮し、積載量を厳守する。また、防塵マット及び散水により万全の処置をとって施工している。
□	2 建造物等の設置、建築・建設段階での環境配慮	
□	(1)道路(車歩道)、雨水排水路の設置に係る環境配慮	現場内で発生した土砂等は、可能な限り現場内で再利用することとしている。
□	(2)基礎や地下建造物の建設に係る環境配慮	工事において発生する建設廃棄物及び建設副産物については、処理方法を明示し、適正に処理している。
□	(3)低層建築物の建設に係る環境配慮	
□	(4)高層建築物・大規模施設等の建設に係る環境配慮 ・ 地域の景観を形成する自然環境資源が計画地内や計画地に隣接している場合、周辺地からの眺望の確保に努め、建造物などによる視覚的遮へい防止に配慮するとともに、文化財などの歴史的・文化的資源からの眺望景観の保全に配慮する。	八戸市が事業主体である荷捌所の整備について、八戸市景観計画にもとづき周辺に景観に配慮する。
□	(5)高架構造物の建設に係る環境配慮 ・ 地盤が軟弱な場所では、盛土や建築物の荷重などによる地盤沈下への影響について十分配慮する。	八戸市が事業主体である荷捌所の工事において、鋼管杭による地盤沈下対策を行うなど適正に処理している。
□	(6)海底・海中建造物の設置や建設に係る環境配慮 ・ 海底や海中建造物の建設に当たっては、海流等への影響、底質のかくはんなどによる水質汚濁や海洋生態系への影響に十分配慮し、海域環境の保全に努める。	海上工事を行うにあたっては、浮泥等の拡散を最小限にとどめるため汚濁防止膜を施工区域に設置している。

事業名	水産流通基盤整備事業	地区名	八戸	八戸漁港
-----	------------	-----	----	------

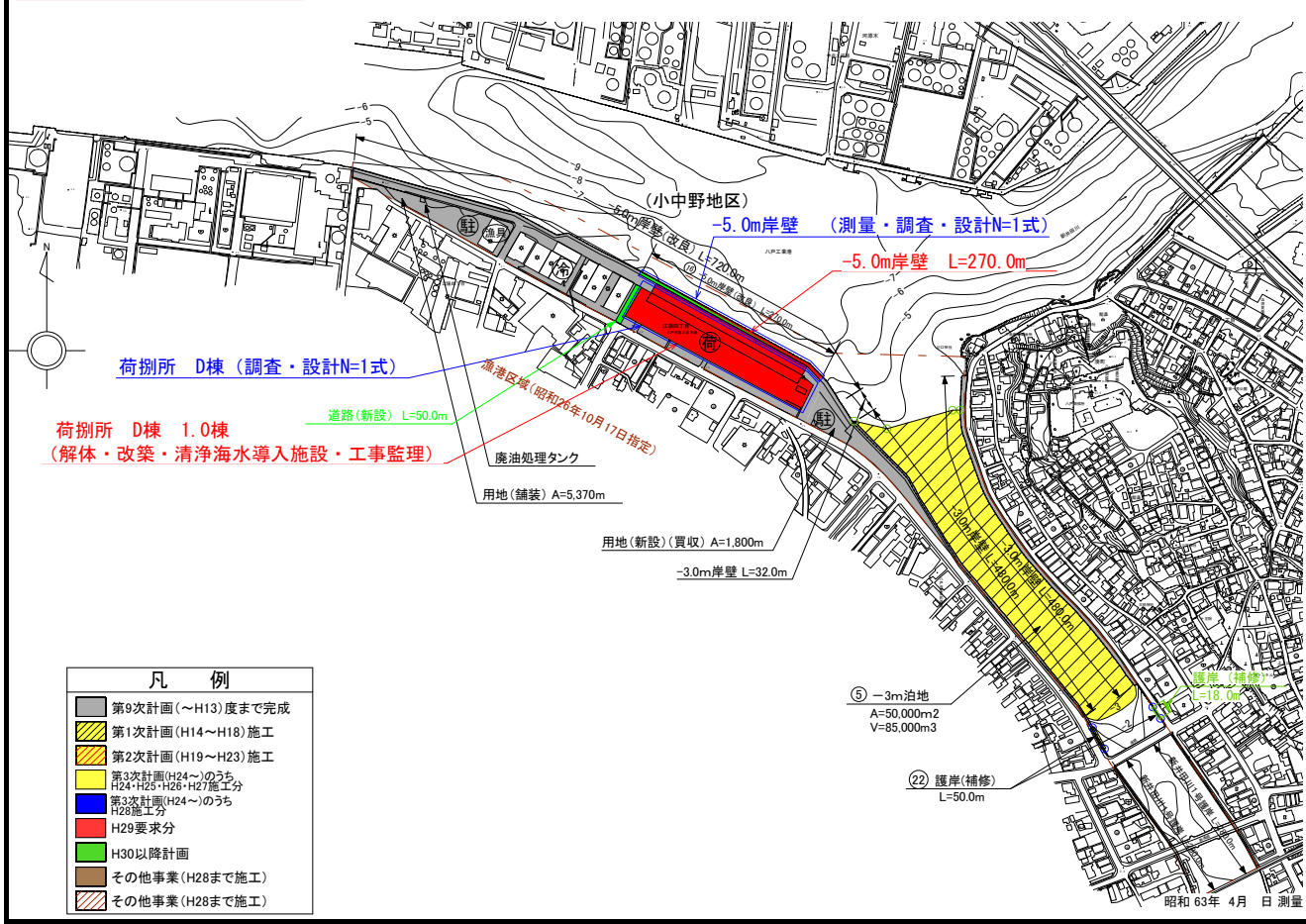
【位置図】



【計画平面図】

水産基盤整備計画平面図 八戸地区水産流通基盤整備事業 (八戸漁港)	漁港番号 1230010 (S26.10.17指定)	種別 特定第3種	所管 本土	事業主体 青森県・八戸市	管理者 青森県	施工場所 青森県八戸市江陽四丁目
---	----------------------------------	-------------	----------	-----------------	------------	---------------------

八戸漁港(小中野地区)

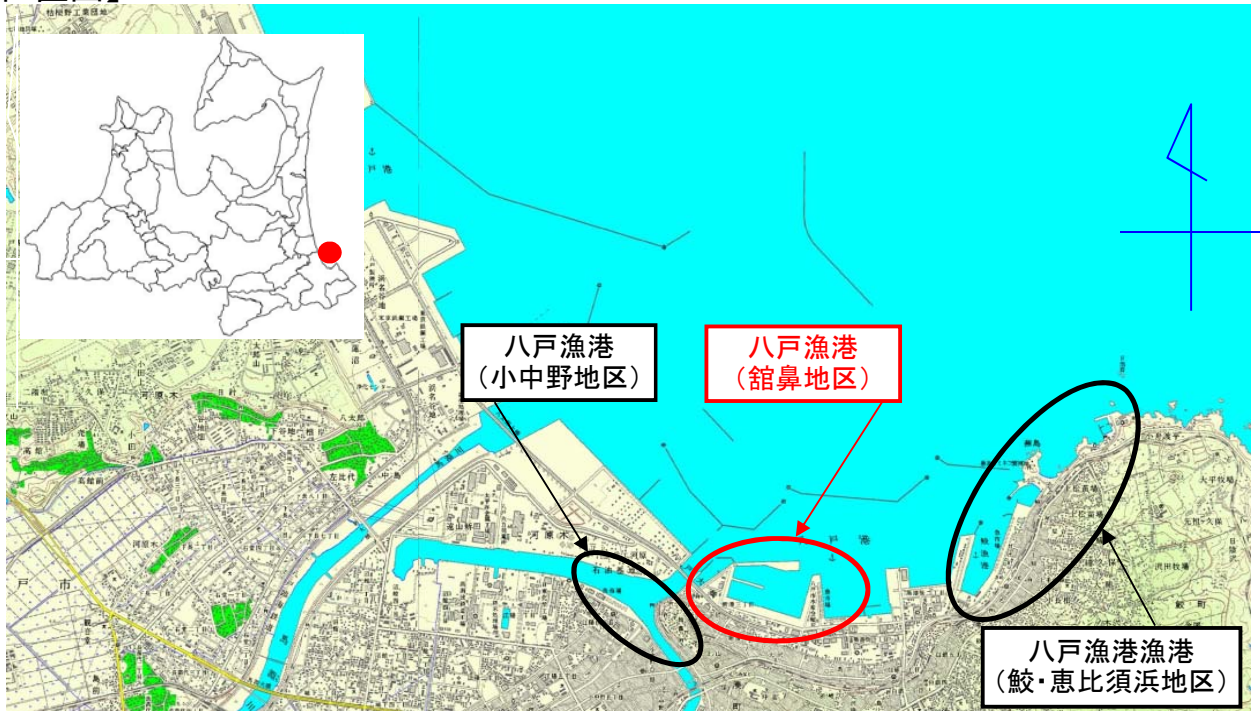


凡例

■	第9次計画(～H13)まで完成
■	第1次計画(H14～H18)施工
■	第2次計画(H19～H23)施工
■	第3次計画(H24～のうち H24・H25・H26・H27施工分
■	第3次計画(H24～のうち H28施工分
■	H29要求分
■	H30以降計画
■	その他事業(H28まで施工)
■	その他事業(H28まで施工)

事業名	水産流通基盤整備事業	地区名	八戸	八戸漁港
-----	------------	-----	----	------

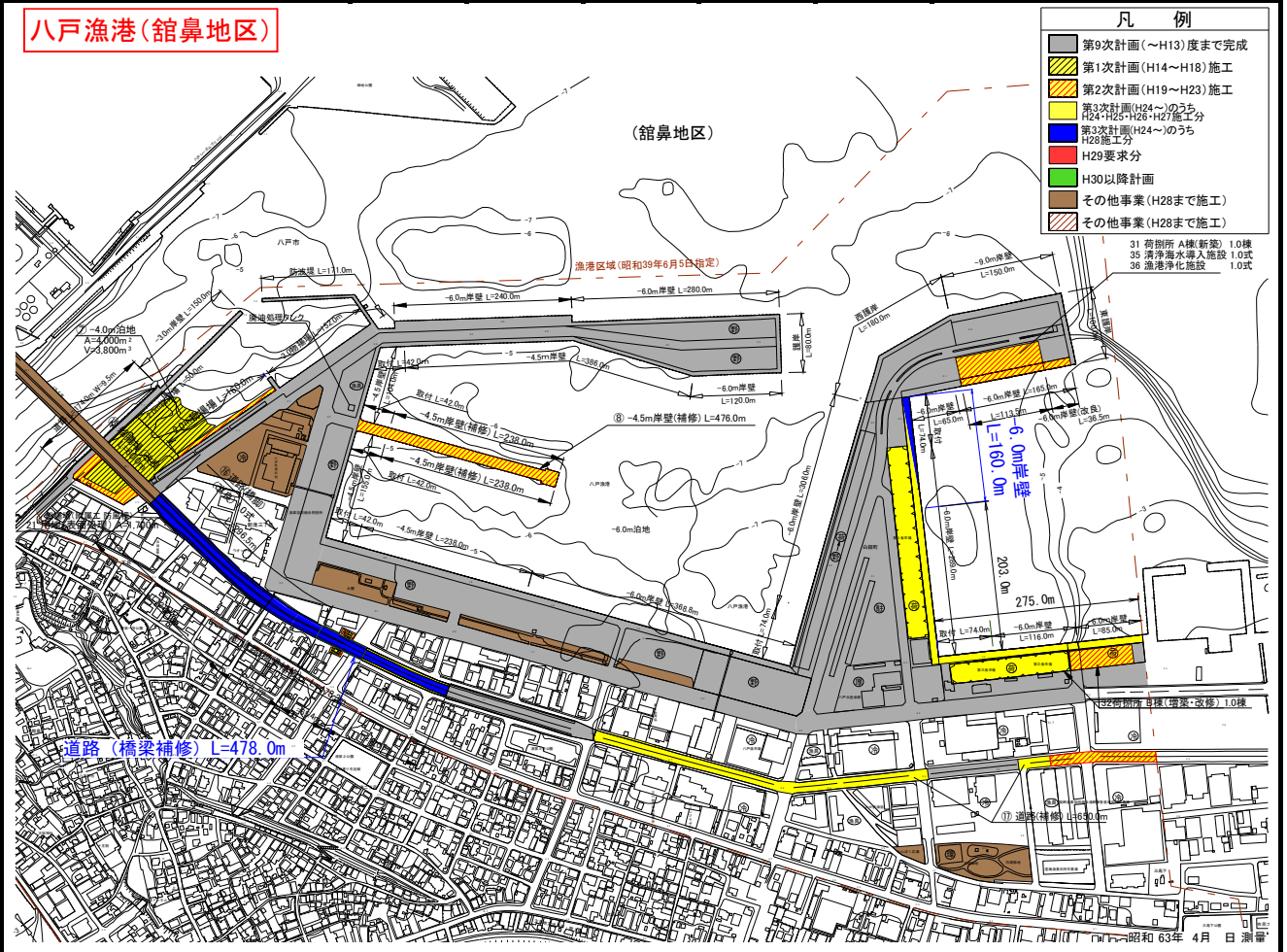
【位置図】



【計画平面図】

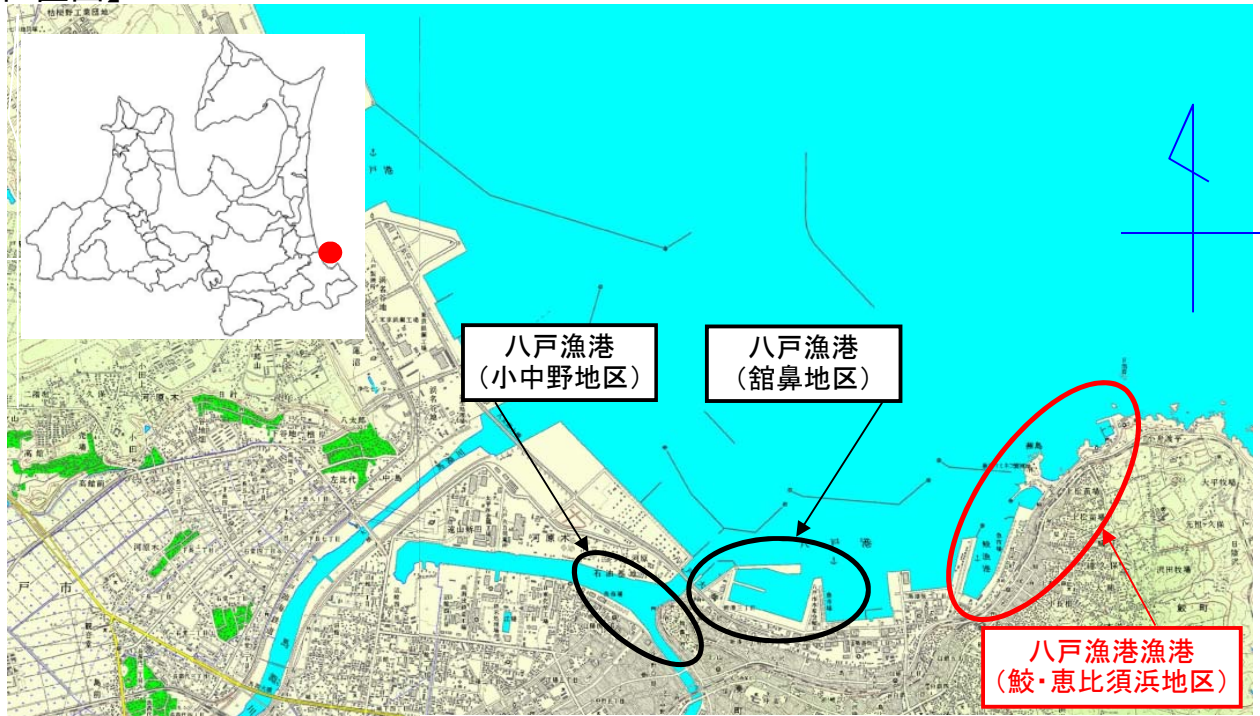
水産基盤整備計画平面図 八戸地区水産流通基盤整備事業 (八戸漁港)	漁港番号 1230010 (S26.10.17指定)	種別 特定第3種	所管 本土	事業主体 青森県・八戸市	管理者 青森県	施工場所 青森県八戸市江陽四丁目
---	----------------------------------	-------------	----------	-----------------	------------	---------------------

八戸漁港 (館鼻地区)



事業名	水産流通基盤整備事業	地区名	八戸	八戸漁港
-----	------------	-----	----	------

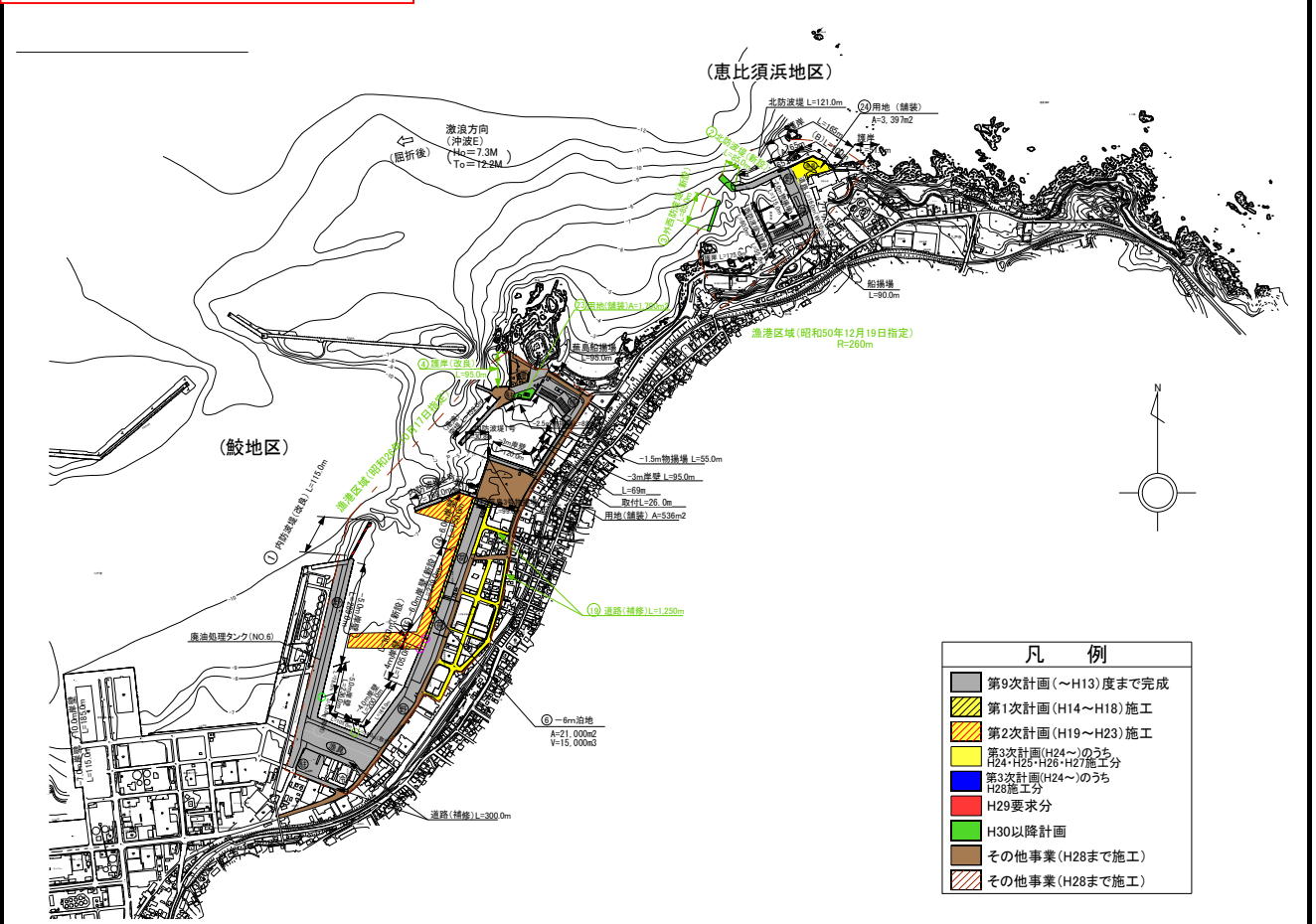
【位置図】



【計画平面図】

水産基盤整備計画平面図 八戸地区水産流通基盤整備事業 (八戸漁港)	漁港番号 1230010 (S26.10.17指定)	種別 特定第3種	所管 本土	事業主体 青森県・八戸市	管理者 青森県	施工場所 青森県八戸市江陽四丁目
---	----------------------------------	-------------	----------	-----------------	------------	---------------------

八戸漁港(鮫地区・恵比須浜地区)



事業名

水産流通基盤整備事業

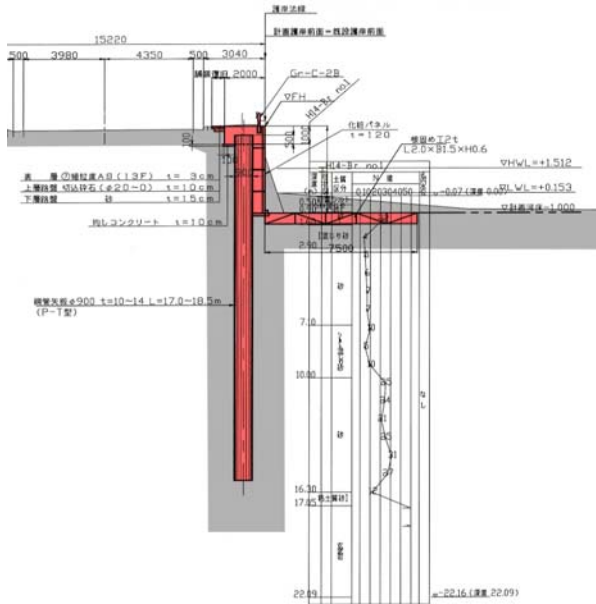
地区名

八戸

八戸漁港

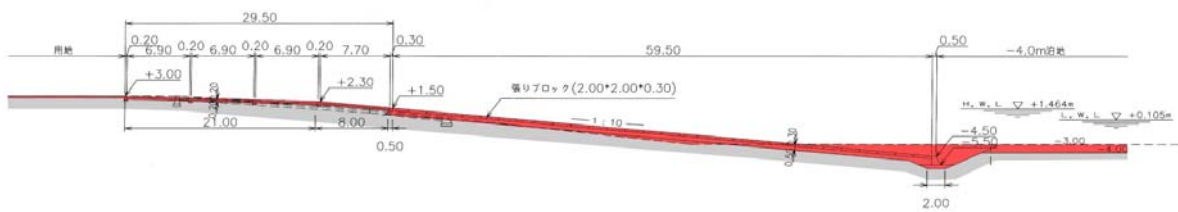
代表的な施設の構造図 八戸漁港(小中野地区)

護岸

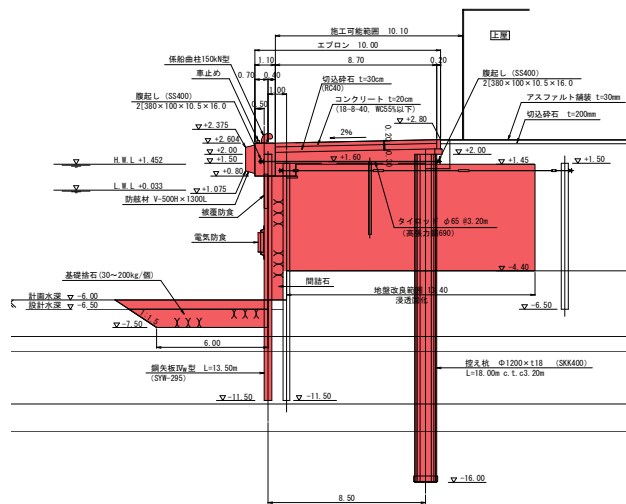


八戸漁港(館鼻地区)

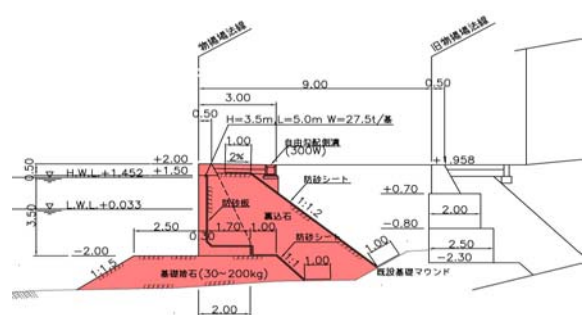
船揚場



-6.0m岸壁



-2.0m物揚場



事業名

水産流通基盤整備事業

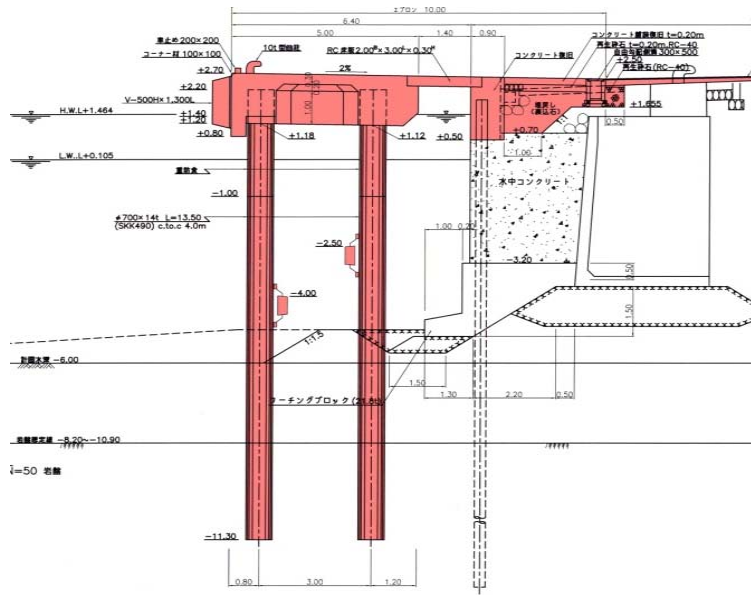
地区名

八戸

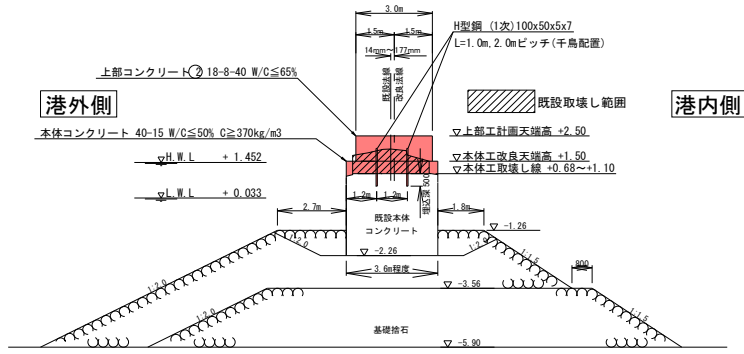
八戸漁港

代表的な施設の構造図 八戸漁港(鮫地区)

-6.0m岸壁

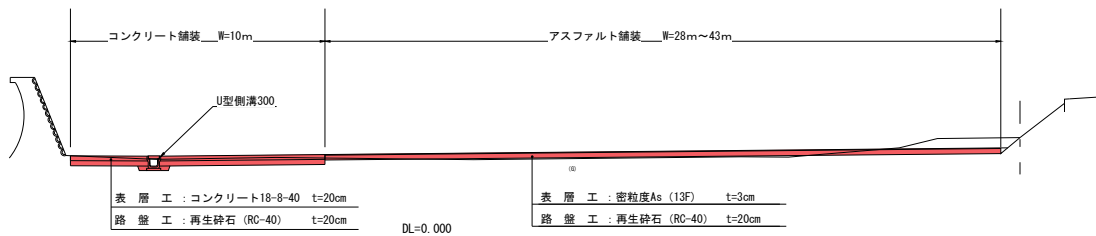


内防波堤



八戸漁港(恵比須浜地区)

用地



事業名	水産流通基盤整備事業	地区名	八戸	八戸漁港
-----	------------	-----	----	------

【全景】
○八戸漁港



平成27年3月撮影

事業名

水産流通基盤整備事業

地区名

八戸

八戸漁港

【現況】

八戸漁港（館鼻地区）

館鼻地区；-6m岸壁



築造後30年以上経過しており、鋼矢板の腐食がかなり進行している。耐震・耐津波に対する機能診断の結果、安定性が確保されていないことが確認された。また、上部コンクリート及び防舷材の破損が激しく、漁船の係船に支障を来している。

館鼻地区；荷捌所B棟



屋根の鉄骨部分がかなり腐食しているほか、柱のコンクリートが剥離し、鉄筋が露出している。また、耐震診断の結果、改築(取壊し・建築)が必要と診断されている。

八戸漁港（鮫地区）

鮫地区；道路



路面の傷みが激しく漁獲物の配送の際、こぼれ落ちるのを防ぐため低速での運搬を余儀なくされている。

鮫地区；内防波堤



上部コンクリートの劣化・損傷が激しく、防波機能が低下している。

事業名

水産流通基盤整備事業

地区名

八戸

八戸漁港

【施工状況】

八戸漁港（館鼻地区）
（-6.0m岸壁）



本體工：控鋼管杭打設状況



本體工：鋼矢板打設状況



本體工：タイロッド取付状況



上部工：コンクリート打設状況



付属工：防舷材取付状況



コンクリート舗装工：コンクリート打設状況

八戸漁港（鮫地区）
（道路）



舗装工：路面切削状況



舗装工：舗設状況